

「風景写真 × フォトコン チームチャンピオンズカップ2016 長野」 [ルールブック]

1. 開催理念

- ・ Fair Photographerであること《参加者》
- ・ リアルな体験とイコールコンディション（撮影機会、条件の均等）による新しい“写真を楽しむ場”の創造《運営》
- ・ 安全が最優先、その上で楽しく、正しく、真剣に！《みんなで》

① Fair Photographerについて

Fair Photographer（フェア フォトグラファー）とは、写真を楽しむ皆さんがひとりひとり考え、行動することによって風景と地域に優しいフェアな撮影スタイルの確立を目指すプロジェクト。

北海道美瑛町で「哲学の木」と呼ばれ、長年風景写真家から愛されてきた一本の木に起きた悲劇的な出来事に危機感を共有する『風景写真』編集長・石川 薫と風景写真家・中西敏貴、グラフィックデザイナー・三村 漢の3人によって提唱された。その趣旨に共感した『フォトコン』編集長・藤森邦晃が、『風景写真』との合同企画の開催により写真界に広めることを提案したことによって、Fair Photographer の精神に基づく初のイベント「チーム チャンピオンズカップ」が実現することになった。

- ・ 本イベントの参加者はFair Photographer が提唱する「写真家が訪れるほどに撮影地が美しなる」撮影スタイルの確立を目指し、実践しなくてはならない。
- ・ 撮影の現場となる地元との協調、貢献を常に意識し、行動しなくてはならない。
- ・ ＊今大会の開催にあたって、主催者側は必要な用品類をなるべく岡谷市、諏訪市で購入するようにしています。
- ・ 自然破壊や地元住民に迷惑をかける行為が明白なチームまたは個人に対して、主催者は9日のトーナメントでペナルティーを科すことができる。

② マナーキーパー

マナーキーパーは、本大会の開催が、Fair Photographer の目標である「写真家が訪れるほどに風景が美しくなる」が実現できるよう、撮影現場におけるチームの行動をチェックする役割を担う。

2. 競技

① 競技の形式

- ・ 2チームが5人のメンバーにより競うことを“試合”、試合の中で1対1で作品を出し合い競うことを“対選”と呼ぶ。1試合は5（対）選よりなる。
- ・ 選考対象作品は「風景およびネイチャー」とする。
 - ＊人物の表情や動きを主体とした作品は不可とし、原則的に人物の扱いは添（点）景に限る。
 - ＊人工物、建築物の写り込みはなんら規定に違反しない。

② チーム

- ・ 1チーム5名。うち1名は監督を兼ね、別の1名はマナーキーパーを兼ねる。
- ・ チームメンバーが競技当日に遅刻または欠席により競技に参加することができなかった場合、そのメンバーと対する相手の不戦勝とする。

③ 本部

- ・ 大会を通して本部は次に置く。

あいとぴあ男女共同参画センター（岡谷市長地権現町4-11-51）
本部携帯：090-4066-6272（藤森編集長）
- ・ 各チームは、出発（目的地も）、到着（到着地も）の度に、本部携帯へその旨をショートメールで報告しなくてはならない。
- ・ 事故やトラブルの際は必要各署（警察・消防など）への連絡を優先しつつ、極力速やかに本部に連絡を入れること。

④ 撮影会

【撮影スケジュール】

- ・ **10月8日（土）**
 - 13：30頃（開会式終了後） 撮影開始
 - 18：00 撮影終了（データ提出は本部にて19：00まで）
- ・ **10月9日（日）**
 - 3：00 撮影開始
 - 8：00 撮影終了（あいとぴあには9：00以前には入れません／データ提出は10：15まで）
 - ＊初日、開会式後のオリエンテーションで、全参加者の使用カメラの日時設定を合わせ、以降、大会終了時まで日付設定を操作することは厳禁とする。
 - ＊初日、カメラの日時設定開始までに到着できなかった選手がいるチームは遅刻とみなされ、他チームが出発した後、本部にてあらためて注意事項、連絡事項について説明を受け、日時設定を合わせた後、出発できる。

【移動】

- ・ 撮影地は長野県内かつ所定のデータ提出時間に間に合う場であれば自由。
- ・ 複数台の車にチームのメンバーが分乗する場合も、目的地やルートを分けてはならない。

【ドライバー】

- ・ 有効な運転免許を所持している者が1台につき2名以上いなくてはならない。ただし学生チームは別途規定（下記）に準ずる。

- ・ 学生は緊急時を除いて運転はせず、メンバーとは別にドライバー1名を加えてよい。
- ・ ドライバー担当者は10月7日（金）午前3時以降、大会終了後まで飲酒してはならない。また十分な睡眠時間を確保すること。
- ・ 交通違反による遅延は一切考慮しない。
- ・ 上記学生の場合を除き、原則として移動時はチームメンバーのみが車に同乗できる。ただしメンバーの家族に限り同乗を認める。（アドバイスなど競技への関与は不可）

【撮影】

- ・ 撮影した画像をパソコンで調整することは禁止。カメラ内での調整のみ認められる。カメラ内RAW現像は可。白黒変換もカメラ内であれば可。作品提出はJPEGデータに限る。
- ・ 撮影後にカメラ内でアスペクト比の変更、トリミングすることは禁止。（あらかじめアスペクト比を変更して撮影された写真は問題ない。）
- ・ 複数台のカメラで撮ることは問題ない。

【データ提出】

- ・ 初日10月8日は、各チーム1人1点、計5枚の作品データをUSBメモリに入れ、指定の受付に提出しなくてはならない。
- ・ 2日目10月9日は、各チームとも5人のメンバー全員が、8日、9日の規定時間内（8日は開会式終了後から18:00まで／9日は3:00から8:00まで）に撮影された作品から4点（シードチームは3点）の作品を選び、5人分をUSBメモリに入れ、指定の受付に提出すること。
- ・ ファイル名は必ず以下の様式に整えること。
《チーム名（略称）》_《氏名》_《通しナンバー》.jpg
例）フォトコン_藤森邦晃_01.jpg
- ・ いずれの場合も指定時間までに、データ受付に所定のデータを用意して到着していなかったチームは初戦で1敗スタートのペナルティーが与えられる。

⑤ トーナメント

- ・ トーナメントの組み合わせは、懇親会中にくじ引きを行い決定する。
- ・ 8日に提出した5点の作品は、懇親会中にチーム紹介と共に会場で上映する。
- ・ 準決勝に敗退した2チームにより、決勝の前に3位決定戦を行う。

⑥ 試合

- ・ 試合形式は5対5の“星取り戦”（＝勝ち残りなし、1試合につき1人1選ずつ）形式。
- ・ 対選する両チームの監督は、あらかじめ提出された作品の中から、1対選ごとに試合に出す選手と作品を指定することができる。
- ・ 司会の合図から1分を超えて選手、作品が用意できない場合は失格とし、相手の不戦勝となる。
- ・ 両チームの監督が指定した2点の作品を同時に映し出し、審査員3名のうち2名以上が支持した作品の勝利とする。
- ・ 5対選中3勝先取したチームが勝ち残りとなるが、勝敗が決しても5対選すべてを行う。
- ・ 一度対選に用いた作品はその後の対選に使用することはできない。
- ・ 同一選手が類似した作品を対選に提出することはできない（同一チームの選手間での類似作品の提出はこの限りではない）。

【提出作品の未発表・既発表扱い】

・対選後、「風景写真」誌、「フォトコン」誌のいずれかの誌面上に掲載された作品は発表作品とみなされる（対選に使用された作品であっても、誌面掲載されなかった作品はこの限りではない）。

⑦ 審査員

- ・審査員は『風景写真』と『フォトコン』の各編集長に写真家1名を加えた計3名。
- ・今回の写真家の審査員は斎藤友覧氏が務める。
- ・審査員は一選ごとに、対選終了後に判定理由や感想を述べる。
- ・引き分け判定は出さないものとする。

3. 賞

・ **チームチャンピオンズ杯（1位）**

トーナメントを勝ち残り、決勝を制したチームに優勝杯と記念品を授与する。

・ **2位、3位**

トーナメント2位、3位のチームには記念品を授与する。

・ **MVP（Most Valuable Photographer）**

最優秀作家賞：大会中、もっとも印象的な活躍を見せた作家に贈る。原則として決勝に勝ち残ったチームから最多勝の作家を選出するが、審査員の合意により、その限りではない。

・ **審査員賞**

各審査員がそれぞれ印象に残ったチームを選出する。